

今後の検討の進め方について（案）

1 進め方についての基本方針

当面 2003 年夏頃を目途に、専門委員会の最終報告を取りまとめ、温暖化対策税の具体案を世の中に対して示すことを目指す。

温暖化対策税の具体案のたたき台を用意するための集中的な議論を行うため、本日の専門委員会において、ワーキンググループ（WG）を設置する。

「中央環境審議会総合政策・地球環境合同部会の小委員会及び専門委員会の運営方針について（平成 13 年 9 月 26 日部会長決定）」の「3. その他」における「上記に規定するもののほか、小委員会及び専門委員会の運営に関し必要な事項は、小委員長又は専門委員長が定めることができる。」との規定に基づき設置。

WG において行った具体案についての検討結果を専門委員会へ報告し、専門委員会としての最終報告を取りまとめる。

<スケジュールのイメージ>

専門委開催（2003 年 2 月 25 日）

- ・ 温暖化対策税の具体案の骨格・検討事項に係る審議
- ・ 今後の進め方に係る審議

WG での検討（2～3 ヶ月間を目途に数回開催し、検討結果をとりまとめ）

- ・ 温暖化対策税の具体案についての検討、具体案のたたき台を用意

専門委開催

- ・ WG の検討結果（最終報告骨子）に係る審議

専門委開催（2003 年夏頃を目途）

- ・ 最終報告のとりまとめ

以後、2004 年に行われる温暖化対策の評価・見直しに向けて、最終報告のパブリックコメント、部会レベルでの検討、国民的な議論を実施していく。

2 WGの進め方について

WGにおいては、資料3の今後の検討の方向・検討課題に沿って、以下の点等について検討を行い、専門委員会における議論のたたき台を用意する。

主な検討事項は以下のとおり。

課税対象（特に、化石燃料以外のガスへの課税）

課税段階

税を効かせない仕組み（減免・還付等）と対象のイメージ

世の中の納得が得られるような透明な使い方

以上の他、別途検討を行う以下のついでの報告を受け、議論を行う

税収を活用した具体的用途・必要額のイメージ

効果・影響の試算結果

なお、WGは専門委員会における議論の材料を準備するための場であり、議論は引き続き公開の専門委員会で行うことから、個別相談等の機動的な作業を行うことも想定しているWG自体は、非公開とする。